

## 経営学研究科 修了者のキャリアパスの事例

修士課程においては、基礎となる経営学部の基本理念を踏まえ、高度な専門性、総合性及び実践性を身に付けた、社会に貢献しうる人材の育成を目的としています。2000（平成12）年の開設以来、120余名の方々が経営学の修士号を取得し、企業・NPO・教育・看護医療などの各界に有益な人材を多数輩出しており、企業等に就職を希望する場合は、キャリア支援センターと連携をとって、適切な指導・助言を行っています。

本研究科は、社会の一線で活躍している社会人の方々の修士号取得に力点を置き、履修方法についても在職しながら講義・演習を受講できるよう「教育方法の特例」を実施し、修業年限の全期間を通じ夜間及び土曜日の履修で修了が可能となっているほか、長期履修制度により、仕事と学業との両立を図りやすく、単年度の経済的負担も軽減できるようになっています。さらに、地下鉄交通の利便性ともあいまって、入学者のほとんどが社会人学生となっています。

修士課程修了後の進路としては、民間企業や各種団体など従来職場でのさらなる活躍が見込まれるほか、高等学校教員や看護・福祉系教育機関の教職員、さらには税理士や会計士などとしても活躍しています。また、修士（経営学）の学位を取得することにより、博士（後期）課程への進学や、高等学校教諭専修免許状（商業）の取得、資格試験のうち一部科目の免除が可能となります。

博士（後期）課程修了者については、高度な専門的知識と人間・社会に関する幅広い見識を有し、大学をはじめとする各種の教育機関で活動する研究者および国際交流の場などで活躍できる高度専門職業人として、学術研究の発展と社会の各分野における問題解決に貢献する人材の育成を目指しています。